

MAGAZINE

2010 No.37

Club **Z** Shizuki Asato Official Fan Club

卷頭特集 LIVE REPORT

Shizuki Asato

Xmas

Dinner Show

姿月あさと 2009 クリスマス ディナーショー

ミュージカルロマンス
「ドラキュラ伝説～千年愛～」
会員の皆様へお知らせ

緊急告知! 大阪限定
コンサート発表!! Shizuki Asato Osaka Only Live

姿月あさと ZunZunハワイ 参加者大募集!

LIVE Report

Re:fine

【リ・ファイン】

2009年11月6日7日、
恵比寿ガーデンプレイス・ザ・ガーデンルームで
開催された「Re:fine」。

姿月あさとじゅいとの再出発となつた
感動のステージを、皆様にもう一度
お届けいたします。

2009年11月6日7日、
恵比寿ガーデンプレイス・ザ・ガーデンルームで
開催された「Re:fine」。

姿月あさとじゅいとの再出発となつた
感動のステージを、皆様にもう一度
お届けいたします。

新し、姿月あさとじゅいの想いが結実してゆく
仲間達の想いが結実してゆく
その光を浴びて
再び輝きだす月のステージ
応援し続けてくれたファンに
新し、姿月あさとじゅいの想いが結実してゆく
仲間達の想いが結実してゆく
その光を浴びて
再び輝きだす月のステージ
応援し続けてくれたファンに

11月6日、「Re:fine」初日。
当日は夜1回の公演でしたが、午前中から会場入りし、入念にリハーサルを繰り返す姿月。公演前から入口に並んでいたファンは、洩れ聞こえてくる歌声に感激していたようです。
そして19時、第一回目のステージがスタート。
「Dear My Friend ～友へ～」を携えて、姿月の新しい歩みが始まりました。

第一回のゲストはダンスパフォーマーの東山義久氏。氏が所属するエンターテインメントユニット「DIAMOND☆DOGS」の公演に姿月がゲスト出演して以来の親交は、ファンの皆さんももちろんござん知でしょ。「トライシオン ～背信～」で見せたうねるピアノの旋律の中を自在に舞う東山氏の力強いアクトに、ただただ圧倒される観客。

「転、合間のトーキーでは関西出身者どうしの息の合った掛け合いを見せて会場は爆笑、姿月自身もリラックスしてこのステージを楽しんでいるのが解ります。東山氏は一旦退場した後、コンサート後半の「不夜の灯火・不夜の物語」で再登場、この曲でも情熱的なパフォーマンスを披露してくださいました。

続く翌日、第二回のゲストはバレエダンサーの西島千博氏。

前回ゲストの東山氏と同じく「トライシオン ～背信～」と「不夜の灯火・不夜の物語」の2曲のステージアクトを務めていただきましたが、西島氏のパフォーマンスもまた素晴らしい。

バレエのターンやリフトを取り入れたそのダンスは、まさに優美と表現するに相応しく、同じ曲でありながら表現の違いでまた新たな感動を私達に与えてくれました。前夜の東山氏の回と併せてご質になつた幸運な方もいらっしゃるかもしれません。が、発売中の「Re:fine」DVDには特典映像として両氏のステージが収められていますので、そちらで見比べてみるのも興ではと思います。

そして第三回目の最終公演。
この回のゲストは津軽三味線奏者の上妻宏光氏、さらにサプライズとして東山・西島両氏も再びの参加となりました。

三味線という伝統文化を継承しながら、革新的に様々なジャンルの音楽に切り込んで行く上妻氏とのコラボレーションは、姿月にとって深く共鳴するものがあつたのでしょうか。

上妻氏の演奏に合わせて歌い上げる彼女のボーカルから、新しいもの、新しい自分を作り出そうとする「意志の力」を感じ取つた方も多いのではないでしようか。



LIVE Report Re:fine [リ・ファイン]

「Re:fine」最終公演レビュー

【1】Dear My Friend → 友へ

客席通路からスポットを浴びて姿月が登場。「マイウェイ」の旋律に乗せて、友への感謝の気持ちを歌い上げた。

【2】ANDALUCIA

ミュージカル「エビータ」で有名な楽曲。スペインの広大な景色が浮かぶ歌詞と、ピアノとパーカッションの力強い演奏が印象に残る。

【3】FEEL THE WORLD

村松崇繼氏のピアノと山下由紀子氏のバーカッショーンによるインストゥルメンタル。大地の息吹を感じさせる壮大な楽曲。

【4】セレナーデ

チャイコフスキーの有名なクラシック曲をアレンジ。この曲から姿月はノースリーブドレスに衣装をチェンジ。

【5】レコルダシオン → 回想へ

今は亡き人と過ごした在りし日々の思い出を哀切を込めて歌う。ここでバレエダンサー西島千博氏が登場。

【6】JEALOUSY

真っ赤な照明の中、力強いハイトーンが響きわたる。客席からステージへ東山義久氏が登場。姿月と共に情熱的なダンスを披露した。

【7】モルダウ → 果てしなき流れの果てにてへ

情熱を送らせたエンディング。会場から大歓声が沸き起つる。上妻宏光氏登場。時に激しく、時に哀切を帯びた津軽三味線の調べに乗せて。彼の地に思いを馳せる姿月の歌声が響く。

【8】スカボロー・フェア

上妻宏光氏登場。時に激しく、時に哀切を帯びた津軽三味線の調べに乗せて。彼の地に思いを馳せる姿月の歌声が響く。

【9】津軽じょんがら節

上妻宏光氏の津軽三味線ソロ。「本物」のみが生み出すその迫力に、会場はただただ圧倒される。

【10】風林火山

ストリングスBGMに合わせて上妻宏光氏が奏てる三味線の調べの中、二人のダンサー、そして姿月が登場。交錯する3人のダンスパフォーマンス。

【11】不夜の灯火、不夜の物語

再び演奏にじアノとバーカッショーンが加わる。薔薇の花びらを散らし客席からステージへ駆け上がる二人のダンサー。ペールを用いた激しくも優雅なステージアクトが観るものを見事に魅了する。

【12】SWALLOWS

金のドレスに着替えて姿月再登場。「Re:fine」のために書き下された「UTAKATA」を方感の想いを込めて。「運命をやり過せ あるがまま 飛んで行け」

【13】UTAKATA(ト・ノ・ロール)

オープニングに選んだ曲をゲスト、会場全員で合唱。このステージのテーマに相応しい感動のエンディングとなつた。